

公益財団法人日本バレーボール協会 2015 年度第 7 回理事会(定例) 概要

1 日 時：2016 年 1 月 19 日(火) 14：00～16：40

2 会 場：東京体育館第 4 会議室

3 出席者：

理事総数 19 名

出席理事 15 名

会長（代表理事）木村憲治

理事

志水雅一、林孝彦、宮島淑行、桐原勇人、井原実、岡野貞彦、
柿木章、坂本友理、迫田義人、竹内浩、中上孝文、丸山由美、
宮嶋泰子、山口香

監事総数 3 名

出席監事 2 名

高橋治憲、大西浩志

4 議 長：木村憲治

5 決議事項

- (1) 第 7 期（2016 年度）JVA 運営基本方針について
- (2) 役員候補者推薦委員会の設置と委員の選任について
- (3) 環境委員会委員の追加選任について

6 議事の経過の要領及びその結果

会長が議長席に着き開会を宣し、本理事会は、定款第 41 条に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。

続いて議事録記名押印理事に桐原理事を選出し、次の議案の審議に入った。

(1) 第 7 期（2016 年度）JVA 運営基本方針について

第 7 期（2016 年度）JVA 運営基本方針について説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

公益財団法人日本バレーボール協会
第7期(2016年度)運営基本方針
(2016年4月1日-2017年3月31日)

本協会は、わが国におけるバレーボール界を統轄し代表する団体として、グローバル化、情報化、少子高齢化、格差拡大などの急激な環境変化の中、バレーボール競技の普及、振興および発展を図り、児童・青少年から高齢者に至るまで、国民の心身の健全な発達、維持および人間性の向上に寄与し豊かな社会の形成に貢献するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する。

更に、財務体質の改善や風土改革そして競技人口の減少と言った近年の慢性的課題に終止符を打つべく、本年は「守りから攻めへの転換の年」とし、成果を産み出すべく取組みを開始する。

▶ バレーボール力の強化

「普及と強化は全ての基本である」ことを念頭に

1. 本年開催されるリオデジャネイロオリンピックへの出場を目指し突き進む
2. 東京2020大会を見据え、明確な目標設定と厳しい工程管理により、現在の「若手有望選手から代表チームへ」との一貫強化体制を更に精度アップし、未来に繋がる夢の持てる強化体制を構築する
3. 選手の発掘・育成・強化および競技会の企画・運営等、2016年をビーチバレーボール元年として再出発する
4. 競技人口の拡大・選手の発掘育成・指導者の資質向上・強化体制の改善に向けプロジェクト・コアを見直しその内容の充実を図る

▶ 組織力・人間力の強化

1. 社会的責任を果たせる組織となるためにガバナンスを確立する
2. 企画・告知・集客・メディア対応等総ての基本を「ファン目線」及び「アスリートファースト」とする
3. 風土改革・人材登用等により自由闊達な運営を目指す
4. 予算立案・経費削減・3C (commit、communicate、complete) 等意識改革を図ると共に、国際折衝力やマーケティング力の強化により収益増を図り、財務基盤を強化する
5. コンプライアンス体制を強化し、暴力・体罰・ハラスメントの根絶に向けた対策を推進していく
6. 2050年構想とそれに基づく中期計画策定の取組みを開始する

(2) 役員候補者推薦委員会の設置と委員の選任について

役員候補者推薦委員会の設置と委員の選任についての説明がなされ、以下のとおり決議が行われた。

2016年6月開催の定時評議員会終結の時をもって、高橋監事、大西監事、廣監事、3名の任期が満了となるため、本日の理事会では、役員候補者推薦規程に則り役員候補者推薦委員会設置の承認と委員の選任を行う。

役員候補者推薦委員会は評議員1名、代表理事1名、理事1名、監事1名、事務局員1名と外部委員2名の計7名で構成される。役員候補者推薦委員会では各理事及び加盟57団体から推薦された監事候補者を審議し、理事会に提出するための推薦リストを纏める。その後、理事会で評議員会に提出する監事候補者の承認を行い、評議員会にて監事選任の最終決議が行われる。

①役員候補者推薦委員会の設置について

本件について賛否を諮り、これを承認可決した。

②役員候補者推薦委員会委員の選任について（理事代表）

会長及び業務執行理事から、林業務執行理事（事務局長）を理事代表の委員として推薦したいとの提案があった。更に自薦・他薦を募ったが、他に候補者がいなかった為、林業務執行理事を役員候補者推薦委員会委員に選任することについて賛否を諮りこれを承認可決した。

[理事] 林孝彦 ※会長及び業務執行理事の推薦

③役員候補者推薦委員会委員の選任について（理事代表以外6名）

理事代表者（林孝彦）以外の各属性の候補者6名について以下の通り説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

[評議員]	西川友之	※評議員会からの推薦
[代表理事]	木村憲治	※規程の定めにより
[監事]	大西浩志	※監事からの推薦
[事務局]	中野淳子	※事務局からの推薦
[外部]	間野義之	※会長からの推薦 (早稲田大学スポーツ科学学術院教授　スポーツ科学博士)
[外部]	村井恒夫	※会長からの推薦 (武蔵丘短期大学客員教授、埼玉県バレーボール協会副会長)

(3) 環境委員会委員の追加選任について

環境委員会の追加選任について説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

現在、環境委員会は委員長1名体制のため、委員会体制を充実させることで、大会等での啓発活動をより一層充実させていきたい。

- ・環境委員会 委員 大久保裕二 (全国小学生バレーボール連盟 理事)
- ・環境委員会 委員 徳武聡 (日本ビーチバレーボール連盟理事・総務委員長)
- ・環境委員会 委員 森田利雄 (日本実業団バレーボール連盟 副理事長)
- ・環境委員会 主事 吉江友秋 (日本実業団バレーボール連盟 総務委員会委員)

7 報告事項

(1) 2015年度第3四半期職務執行報告について

法令及び理事会運営規程に基づき、2015年度第3四半期の職務執行報告が行われた。主な報告内容は以下の通りである。

【木村代表理事／会長】

- ①ビーチバレーボールシリーズAファイナル大阪大会表彰・挨拶
- ②加盟団体代表委員総会会長メッセージの説明
- ③アジアバレーボール連盟総会（サウジアラビア）出席
- ④9ブロック理事長会出席
- ⑤スポーツ庁、スポーツ振興センター訪問
- ⑥アシックス・FIVB 契約調印式出席
- ⑦各大会視察・挨拶

（全日本大学バレーボール女子・男子選手権大会、JOC ジュニアオリンピックカップ、天皇杯・皇后杯）

【林業務執行理事／事務局長】

- ①全事業本部の役職者・事務局員との個別面談
- ②東京2020大会準備室会議出席
- ③就業規則、コンプライアンス規定についての会議出席
- ④スポーツ庁審議官との面談
- ⑤フジテレビとのワールドカップ大会の反省会出席
- ⑥JICA「Sports For Tomorrow」事業との関連業務
- ⑦毎日スポーツ人表彰式出席

【下山業務執行理事／国際・国内事業本部長】

- ①国際大会調整・検討会議出席
- ②9ブロック理事長会出席
- ③天皇杯・皇后杯抽選会・実行委員会出席
- ④アジアバレーボール連盟総会（サウジアラビア）出席
- ⑤9人制総合男女選手権大会挨拶視察
- ⑥公認講師資格審査講習会挨拶・参加
- ⑦日本小学生連盟・全日本大学連盟打ち合わせ

【井原業務執行理事／業務推進室長】

- ①JOC 主催ガバナンス講習参加
- ②税務調査の結果報告会参加
- ③2050年構想プロジェクト概要説明と意見交換
- ④コンプライアンス規程作成作業
- ⑤ビーチ事業本部定例会議出席
- ⑥協賛企業候補会社との打ち合わせ
- ⑦FIVB 財務委員会（スイス・ローザンヌ）出席

【宮島業務執行理事／M&M 事業本部長】

- ①FIVB 事務局 BETTI 氏・MEDEIROS 氏来訪対応
- ②アシックスジャパン西前新社長来訪対応
- ③丸大食品バレーボール教室（愛媛県武道館・NTC）開催
- ④各大会での来賓対応
(Vintage8's、天皇杯・皇后杯、春の高校バレー)
- ⑤各種スポンサー年末・年始ご挨拶対応
- ⑥肖像使用規定の改定検討打合せ
- ⑦「VOLLEYBALL CHANNEL」の番組チェック及び企画内容の確認作業

【桐原業務執行理事／ビーチバレーボール事業本部長】

- ①シリーズA ファイナルグランフロント大阪大会開催運営
- ②FIVB ワールドツアーカウンシル出席
- ③ドイツ・スペイン・カナダバレーボール協会視察
- ④東京オリンピック・パラリンピック組織委員会との打合せ
- ⑤強化システム変更準備作業
- ⑥オリンピック事前キャンプ等の自治体対応
- ⑦えひめ国体ビーチバレーボール正式種目における事前視察・打合せ

【荒木田強化本部長】

- ①JOC アントラージュ 専門部会出席
- ②加盟団体代表委員総会、9ブロック理事長会出席
- ③Vプレミア男女大会視察
- ④笹川スポーツ財団理事会出席
- ⑤発掘育成委員会との打合せ
- ⑥ミズノ株式会社・セノー株式会社との打ち合わせ

(2) 2015年度第3四半期予算執行状況について

第3四半期予算執行状況について、以下の通り説明が行われた。

2015年度第3四半期の収入の進捗率は年間予算の60% (2,296百万)にとどまった。これは、①補助金・交付金等の受け取りが4月へのずれ込みが予想されること。開催が終了した国内大会に係る入場料・業務委託料等の収入についての期ずれが発生していること。②ビーチバレーボールの協賛金獲得の未達や、物品販売の縮小、肖像権使用については露出を大幅に減らしたことが収入減少につながったこと。一方で③ワールドカップ等の国際大会における集客増により、入場料収益は801百万の予算に対して、879百万の実績となり、進捗率が110%となった。①の期ずれ分については年度末には収受できる見込みである。

費用の進捗率は、年間予算の57%(2,242百万)にとどまった。これは一部期ずれがあるものの、国際、ビーチバレーにおける経費削減効果、物販縮小、肖像使用料収益の縮小にともなう経費の縮小が影響している。

(3) 2050年構想プロジェクトについて（報告）

2050年構想プロジェクトについて以下の通り概要の説明があった。

バレーボール競技人口減少、バレーボール人気の低下、未だ続く暴力・体罰問題、役員改選での混乱、5期連続の赤字決算等バレーボール界には問題が山積しており、とても9個のメダルを獲得した競技団体とは思えない状況にある。

バレーボールに関わる人たちの明るい将来を見据え、私たちが目指す「在るべき姿」「在りたい姿」を取りまとめるための2050年構想プロジェクトを発足した。

メンバーは以下の通り。

座長	高橋義雄	(筑波大学)
メンバー	須藤実和	(ビジネスコンサルタント)
メンバー	前田健	(日本文化出版社長)
メンバー	吉田憲	(国際協力機構 (JICA))
メンバー	高田一慶	(Vリーグ機構職員)
メンバー	朝日健太郎	(JVA:選手経験者)
メンバー	照沼佑介	(JVA:事務局職員)
オブザーバー	林孝彦	(JVA:事務局長)

今後は、プロジェクトメンバー及び JVA 若手職員を中心に 2050 年構想を作成し、2020 年中期計画と共に 6 月開催の理事会にて承認を得て、取り組みを開始したい。

(4) 9 人制プロジェクト委員の追加について

9 人制プロジェクト委員について以下の通り報告が行われた。

9 人制バレーボールは、6 人制バレーボールやビーチバレーボールを下支えしている競技であり、9 人制バレーボールを通じて、生涯スポーツ、国民的スポーツとしてのバレーボールを普及し、裾野からの活性化を目指していきたい。現在の 9 人制バレーボールの実業団、クラブチーム登録数の大幅減少傾向に歯止めをかけるべく、スローガンの作成や混在している 9 人制大会を統合する等の戦略を練り、チーム又はプレーヤーとしても遣り甲斐のある新たな枠組みを考えていきたい。これらの活動に向けての体制強化を踏まえて、今回はプロジェクト委員 3 名の追加を決定した。

<追加メンバー>

中上孝文 (JVA 理事)、柿木章 (JVA 理事)、迫田義人 (JVA 理事)

(5) 東京 2020 大会準備室からの報告

東京 2020 大会準備室長の林事務局長より以下の進捗報告が行われた。

① 競技施設について

- ・バレーボール＝有明アリーナ (新設・15,000 人収容)
- ・ビーチバレーボール＝潮風公園 (仮設・12,000 人収容) ※大会後撤去
- ・パラバレーボール＝千葉幕張メッセ (既設)

② テストイベントについて

③ 事前キャンプについて

④ スポーツマネジャーについて

※詳細は資料記載のとおり。

(6) 他団体役員の推薦について

他団体役員の推薦について、以下の通り説明が行われた。

公益財団法人スポーツ安全協会評議員に林事務局長を推薦いたしたい。

(任期)H28.3～H28年度最初の定時評議員会まで

※他団体役員の推薦状況の詳細は資料記載のとおり。

(7) 功労者Ⅱ表彰について

第6期(2015年度)第3回功労者Ⅱ表彰として下記の方々の表彰決定の報告がされた。

○第6期(2015年度)第3回功労者Ⅱ表彰者

群馬県バレーボール協会 柿澤幸弘 (群馬県バレーボール協会 副会長)

奈良県バレーボール協会 仁木美津子 (奈良県バレーボール協会 常任理事)

徳島県バレーボール協会 坂東信行 (徳島県バレーボール協会 会長)

以 上